

本日の講演は、

「独立行政法人教職員支援機構」

のウェブサイトで、簡単に整理した動画をご覧いただけます。

「期待する学び(No.4)」「深い学び(No.25)」「校内研修(No.58)」「学習指導要領の読み解き方(No.63)」「深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント(No.65)」の5種類があります。

探究し「深い学び」を実現するカリキュラムのデザイン

國學院大學人間開発学部初等教育学科

田村学

主体的・対話的で深い学び

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

アクティブ・ラーニングの視点による
授業改善(授業のイノベーション)

カリキュラム・マネジメントの充実
(カリキュラムのデザイン)

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

主体的・対話的で深い学びの実現 （「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び
対話的な学び
深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

主体的・対話的で深い学び

■主体的な学び

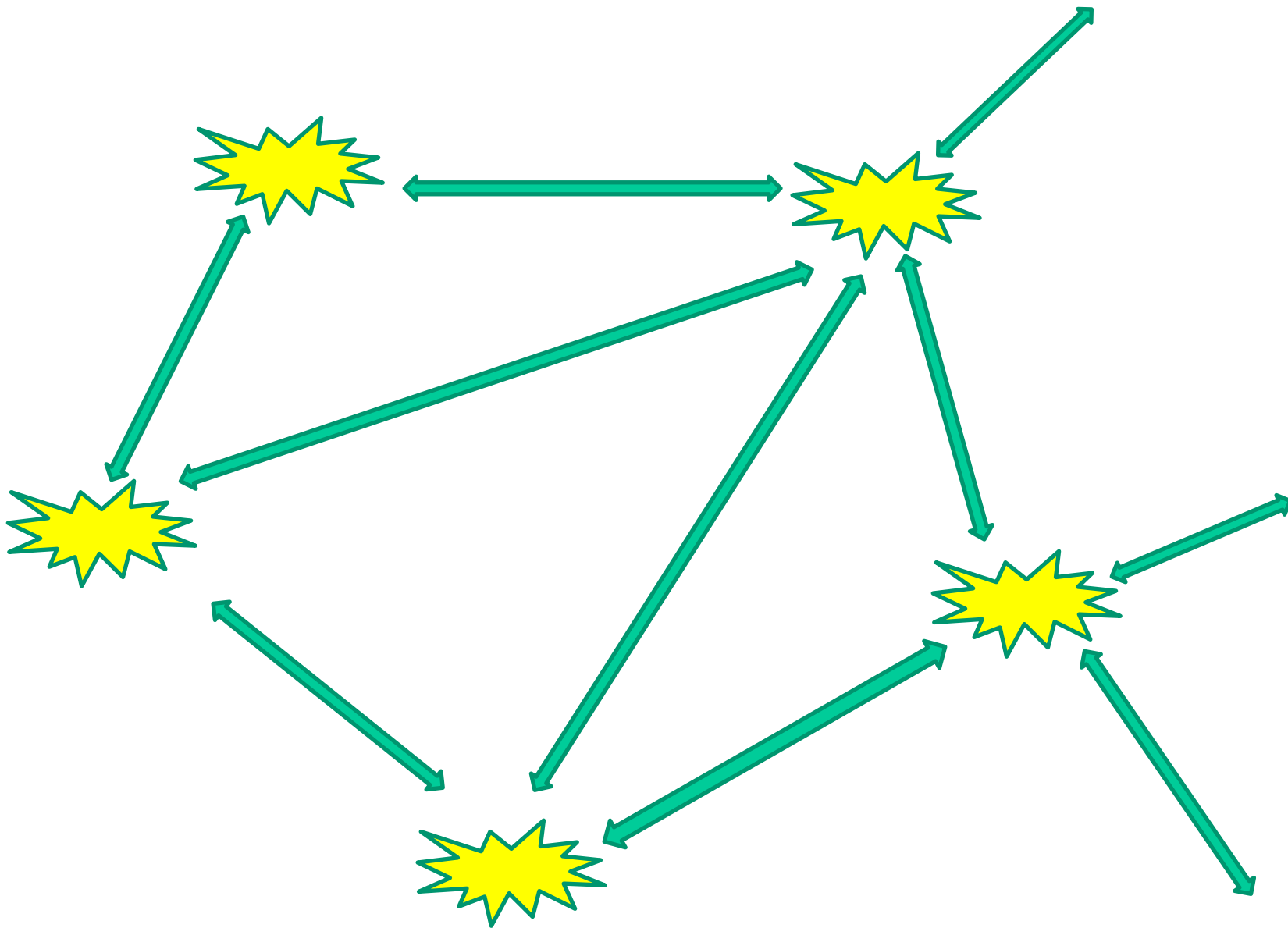
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

■対話的な学び

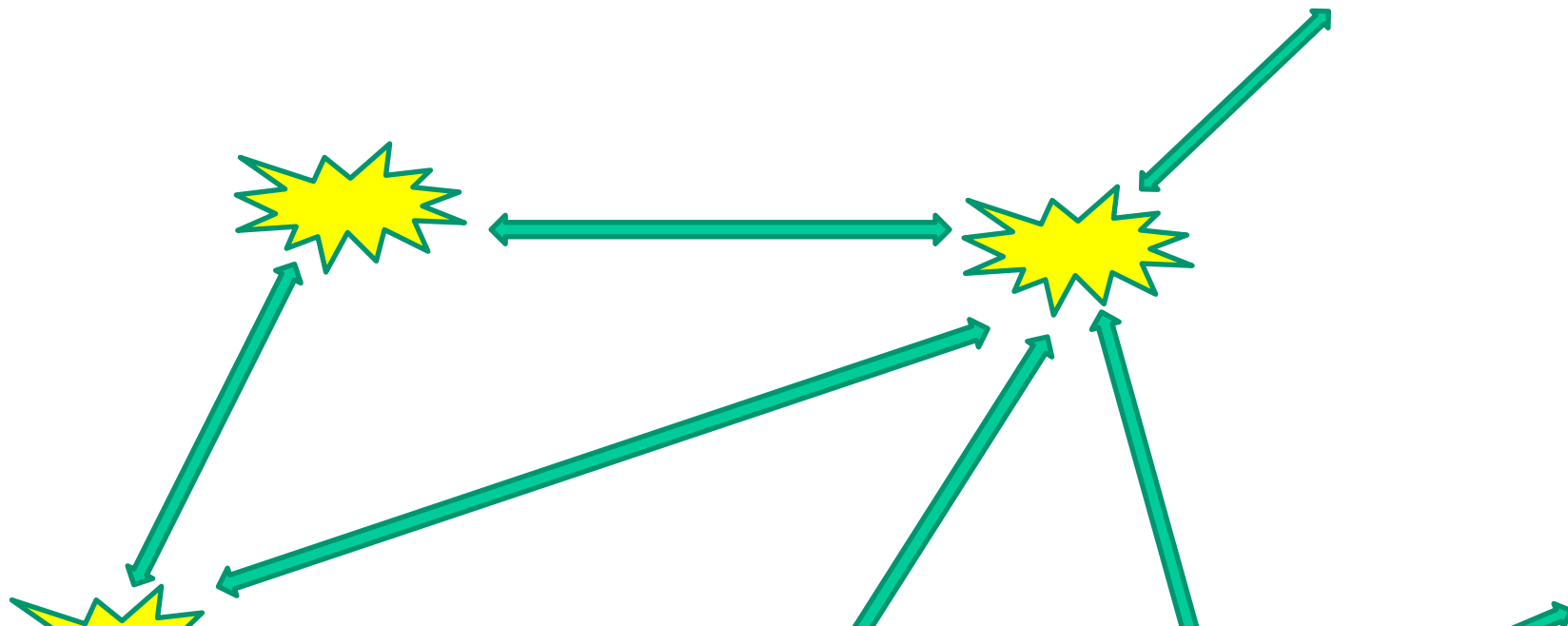
子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

■深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。



知のネットワーク化(精緻化)

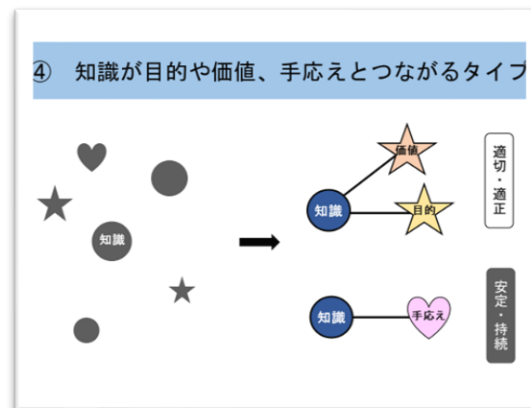
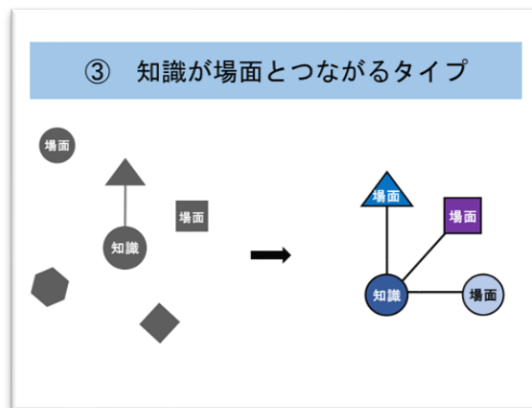
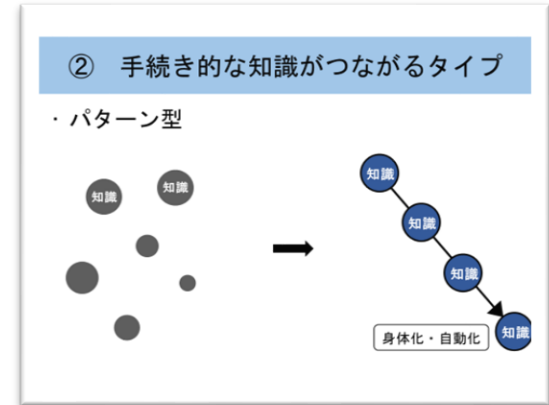
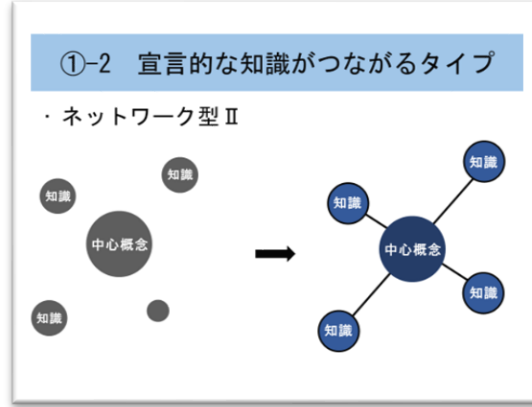
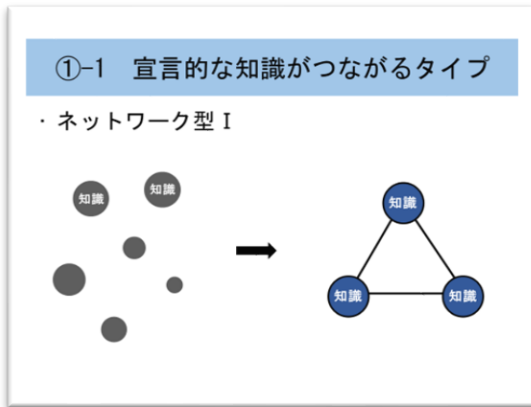


事実的で個別的な知識→概念的で構造的な知識

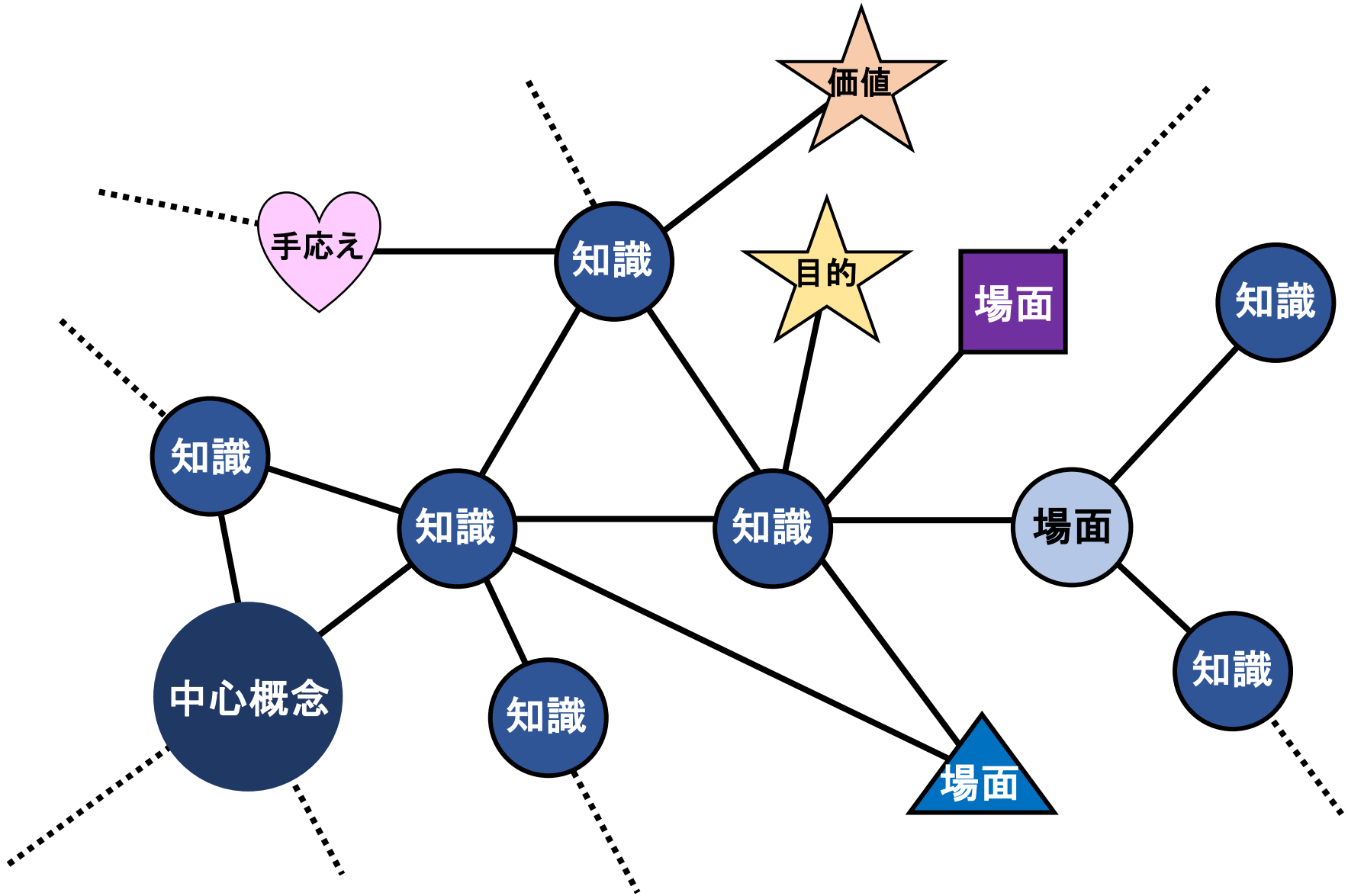


深い学び

■ 4つのタイプ(5つのイメージ)



複雑に絡み合う「知識の構造」



主体的・対話的で深い学びの実現 （「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる



学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

「深い学び」とは、知識・技能が関連付いて構造化されたり身体化されたりして高度化し、駆動する状態に向かうこと

【例】

- ・ 学習の持つ力とめ振り返り、次の学習につなげる
- ・ 「キャリア・パスポート（仮称）」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする

対話的な学び
深い学び

【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【例】

- ・ 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- ・ あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- ・ 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、**知識を相互に関連付けて**より深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

【例】

- ・ 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- ・ 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- ・ 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく



も
る
表
現
力

知識(概念)の拡張

『知識』の拡張

■「知識(意味あるもの)」 + 「情報(そこにあるもの)」

○ 事実に関する知識(宣言的)

○ 方法に関する知識(手続的)

○ 言語化できる(形式、認識): 認知系

○ 言語化できない(暗黙、感覚): 非認知系

■「概念(共通の特徴)」の拡張

知識の構造化(意味ある関連付け)

○ 事実的知識の構造化(ネットワーク): **知識**

○ 手続的知識の構造化(パターン): **技能**

○ 手続的知識と事実的知識の構造化(ハイブリッド): **思考力、判断力、表現力等**

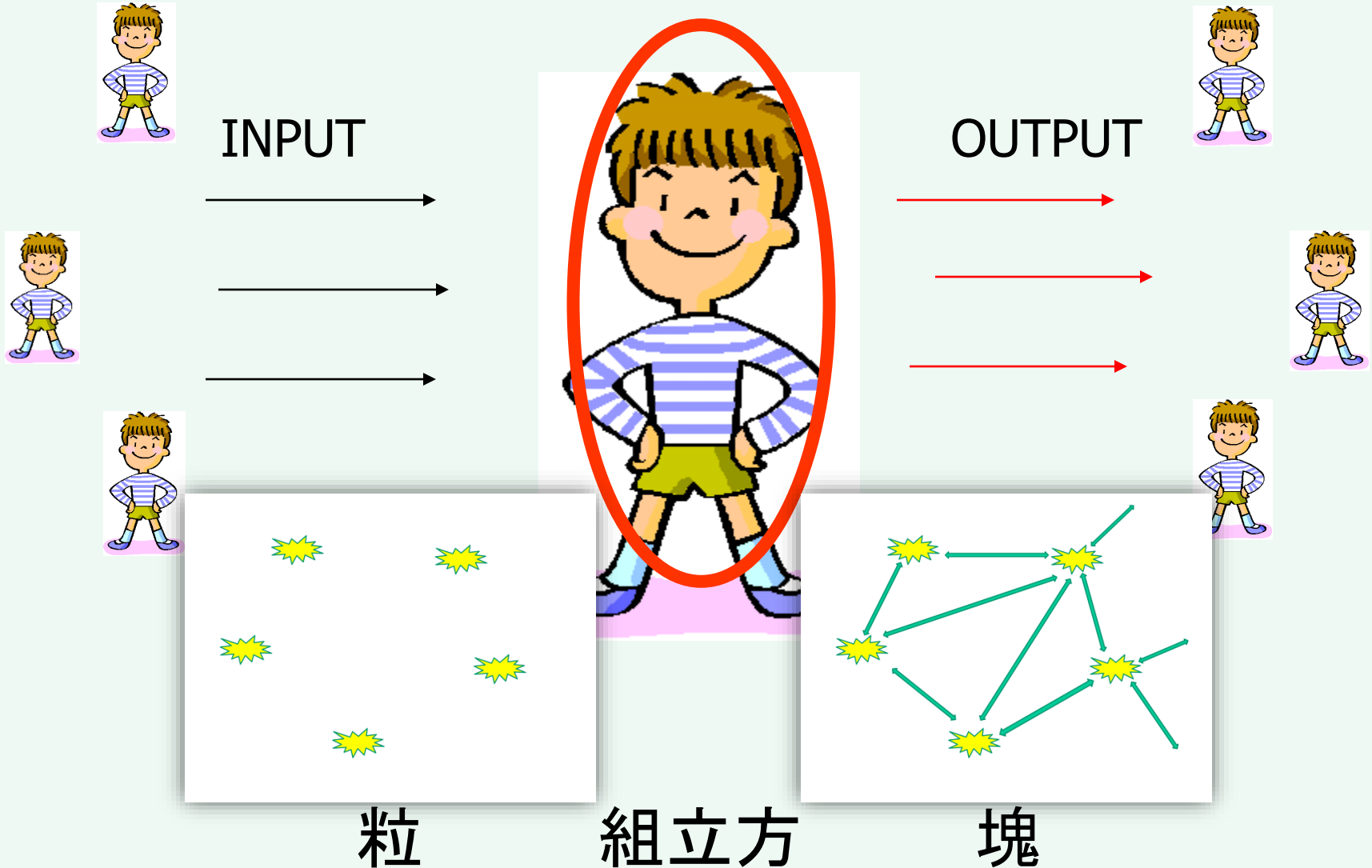
○ 手続的知識と事実的知識と非認知系の構造化(ニューラル)

: **学びに向かう力、人間性等**

A: 内化する



B: 外化する



探究のプロセスの質的向上

—総合的な学習(探究)の時間—

深い学び

「知識・技能をつなぐ（関連付ける）」



「活用・発揮」



「探究のプロセス」

探究(活用・発揮)の授業づくり

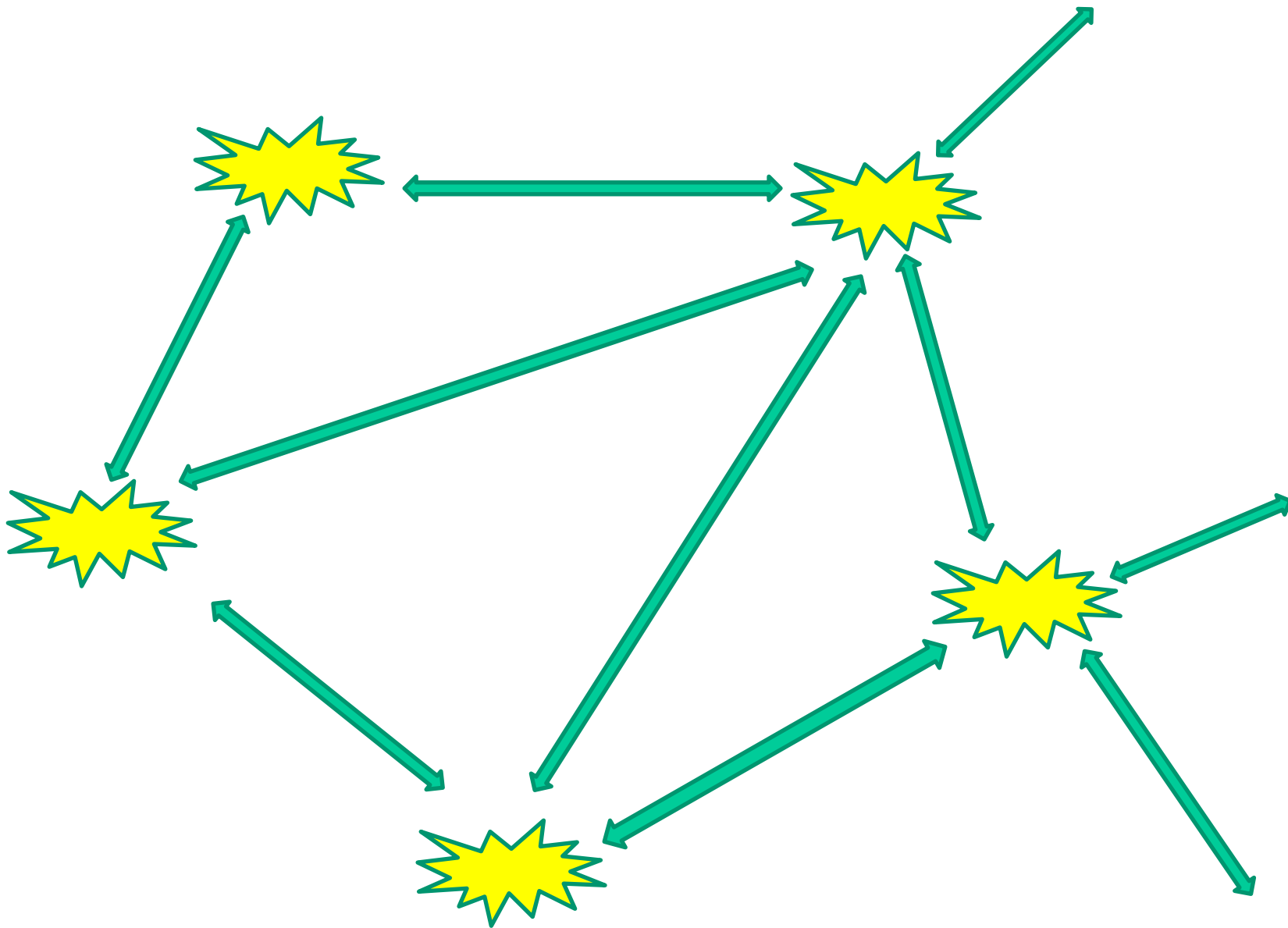


■実社会や実生活における問題について、児童が自ら課題を設定する。

■探究の過程を経由する。

- ①課題の設定
- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現

■自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。



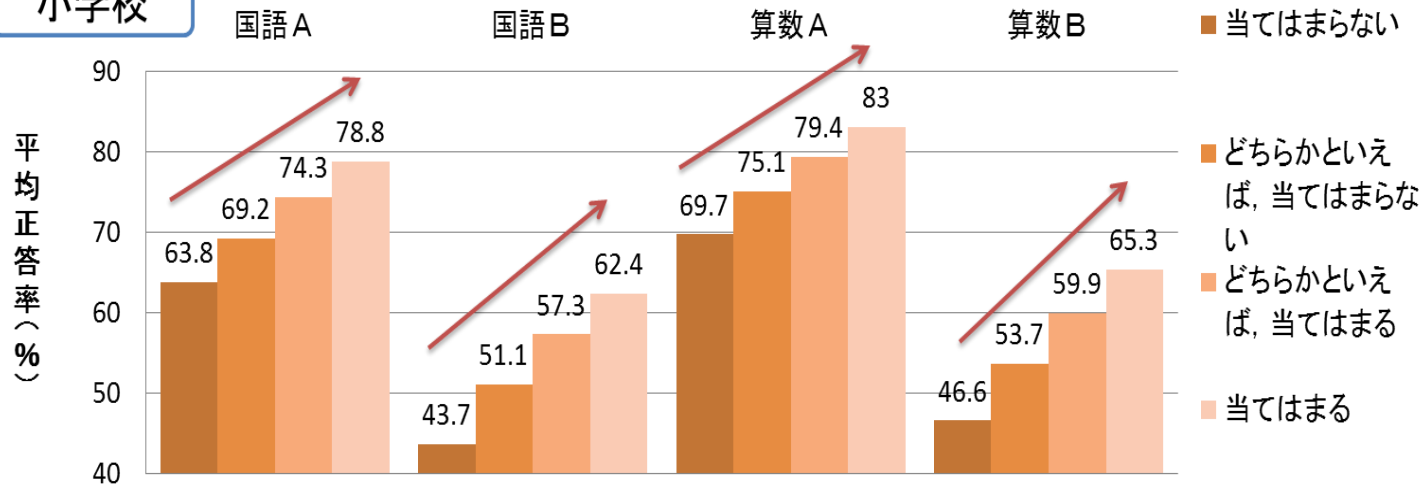
知のネットワーク化(精緻化)→①長期記憶 ②活用型知識

総合的な学習の時間

H26 学力・学習状況調査

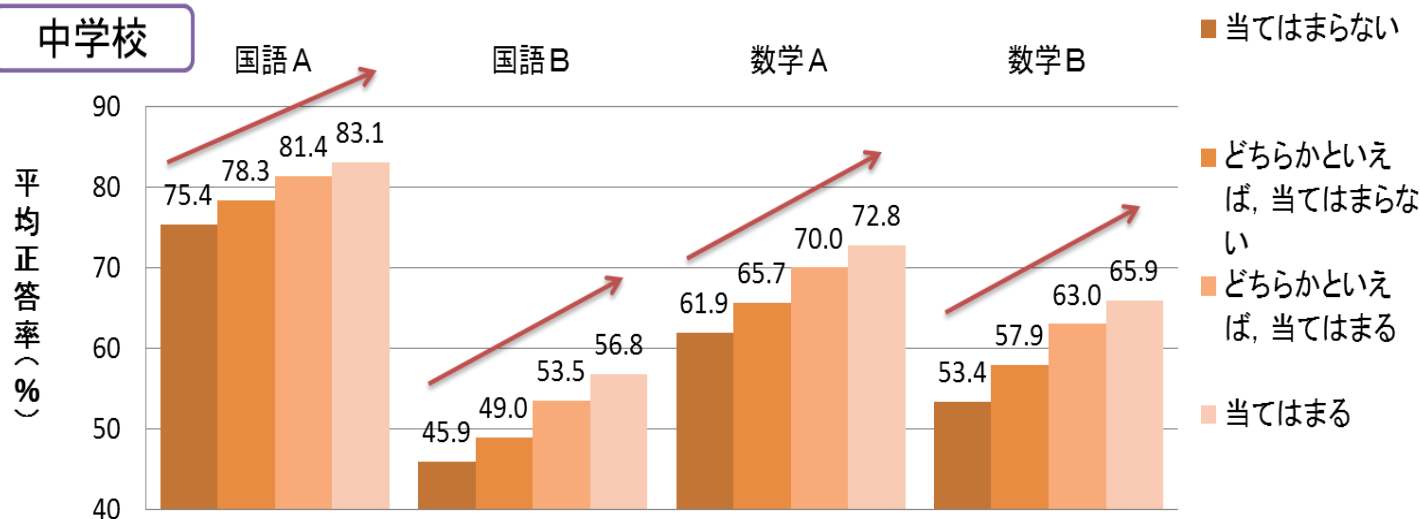
児童(生徒)質問紙(40):「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

小学校



小学校	相関が見られた都道府県数
国語A	47
国語B	47
算数A	47
算数B	47

中学校



中学校	相関が見られた都道府県数
国語A	39
国語B	41
数学A	44
数学B	44



2015協同問題解決能力調査(OECD)

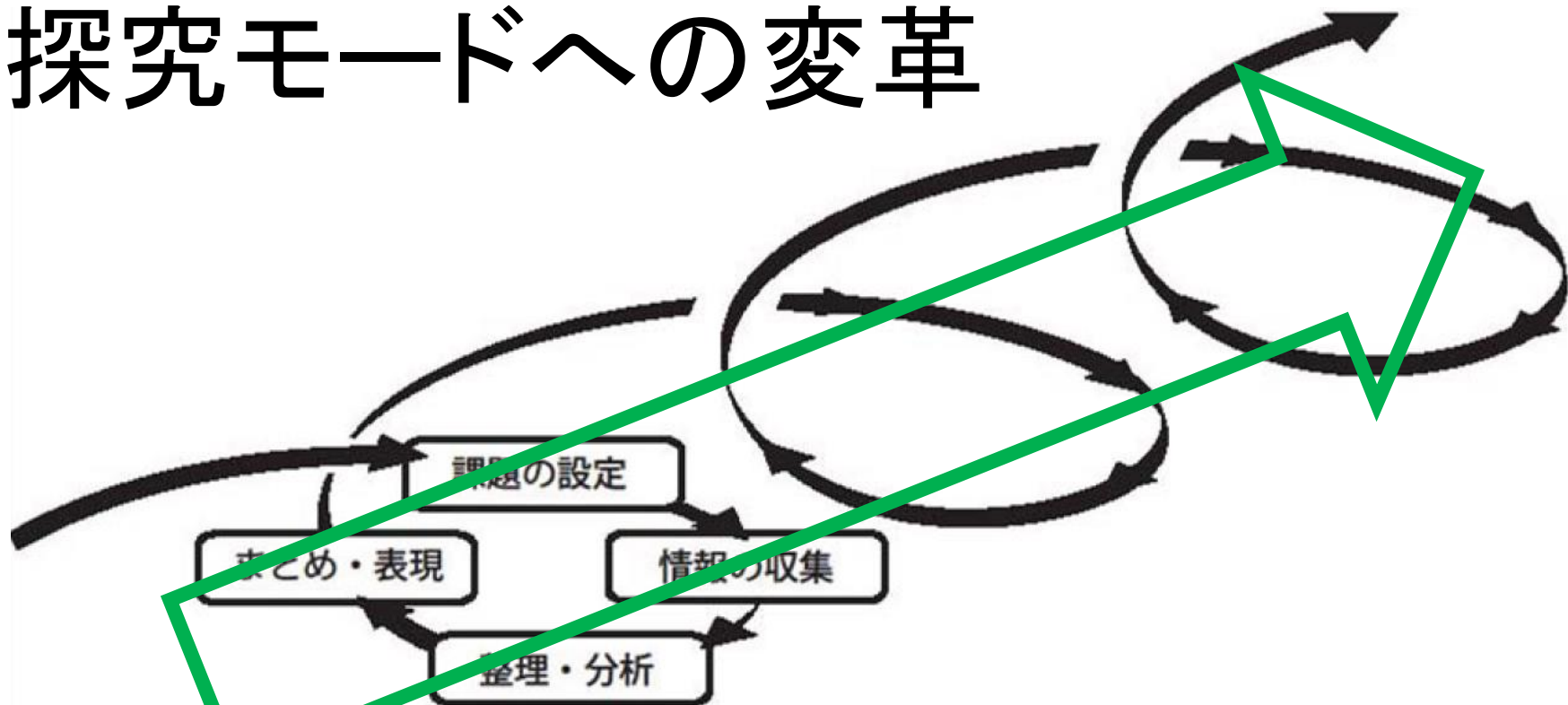
■52カ国・地域, 12万人

■2位

■「2位という結果は、学校の総合学習などで問題解決能力を育む課題探究型の学習に取り組んだ成果だ」(文部科学省)

(29年11月22日(水)毎日新聞)

探究モードへの変革



■ 日常生活や社会に目を向け、児童・生徒が自ら課題を設定する。

■ 探究の過程を経由する。

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

■ 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される

学習活動例(主体的な課題解決)

見通しと振り返りの例

理科における資質・能力の例

協働的な学びの例

課題把握(発見)

自然事象の把握

●観察したことや既習の知識・技能を活用して、共通点や相違点に気付く力

意見交換・議論

情報収集と分類

●必要な情報を選択する力や情報に基づいて課題を理解する力

意見交換・議論

課題の設定

●知識や情報に基づいて課題を設定する力

課題探究

仮説の設定

●知識や情報に基づいて検証できる仮説を設定する力

意見交換・議論

見通し

検証計画の立案

●観察・実験の計画のために知識・技能を活用するとともに、計画を評価・選択・決定する力

意見交換・議論

観察・実験の実施

●観察・実験の実施のために知識・技能を活用したり実行したりする力

調査

結果の処理

●観察・実験の結果を処理する力

意見交換・議論

課題解決

考察・推論

●結果を分析・解釈する力
●結果の妥当性を判断し、結論を導き出す力
●新たな知識やモデル等を創造する力
●次の課題を発見する力

意見交換・議論

振り返り

表現・伝達

●考察・推論したことや結論を発表したり、レポートにまとめたりする力

研究発表
相互評価

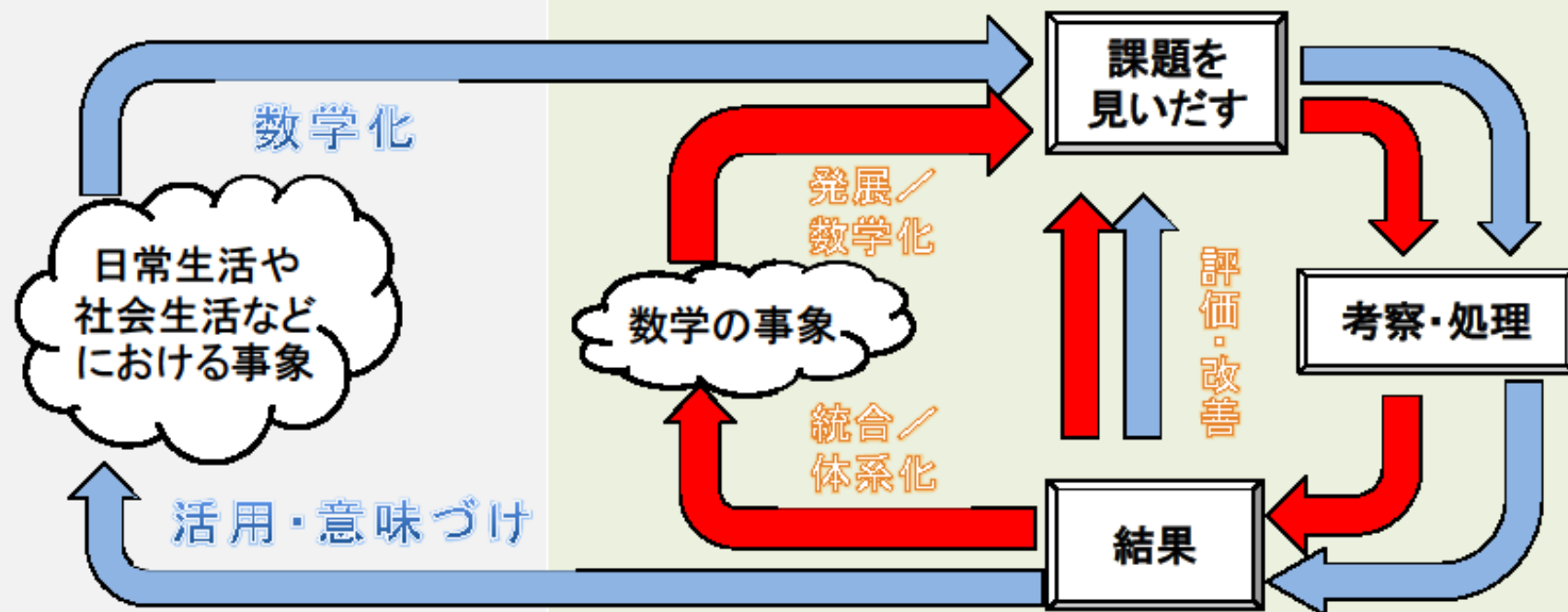
次の課題解決のプロセス

*なお、課題解決の過程は、必ずしも一方向の流れではない。また、授業では、そのプロセスの一部のみを扱ってもよい。

算数・数学の問題発見・解決のプロセス

【現実の世界】

【算数・数学の世界】



日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に処理し、問題を解決することができる。

※各場面で、言語活動を充実

数学の事象について統合的・発展的に考え、
数学の概念を形成することができる

高等学校の教科・科目構成について

(科目構成等に変更があるものを抜粋)

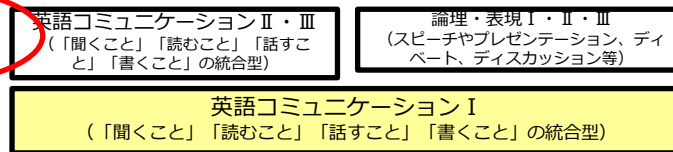
 …共通必修 …選択必修

※ グレーの枠囲みは既存の科目

国語科

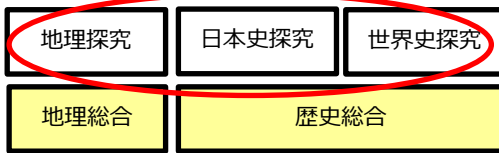


外国語科

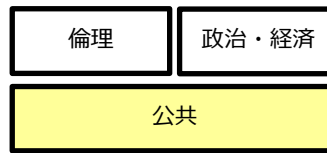


※ 英語力調査の結果や C E F R のレベル、高校生の多様な学習ニーズへの対応なども踏まえ検討。

地理歴史科



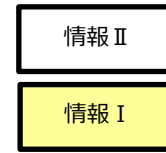
公民科



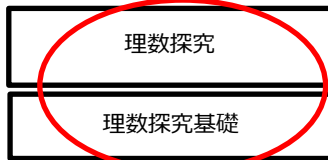
家庭科



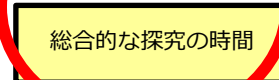
情報科



理数科

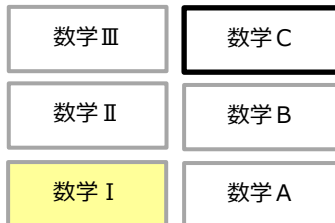


総合的な探究の時間

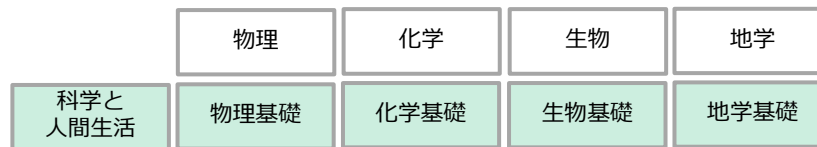


※ 実社会・実生活から自ら見出した課題を探究することを通じて、自分のキャリア形成と関連付けながら、探究する能力を育むという在り方を明確化する。

数学科



理科



総合的な探究の時間における生徒の学習の姿（探究のプロセス）

総合的な探究の時間の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

(2) 現実の世界と自己との関わりの中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

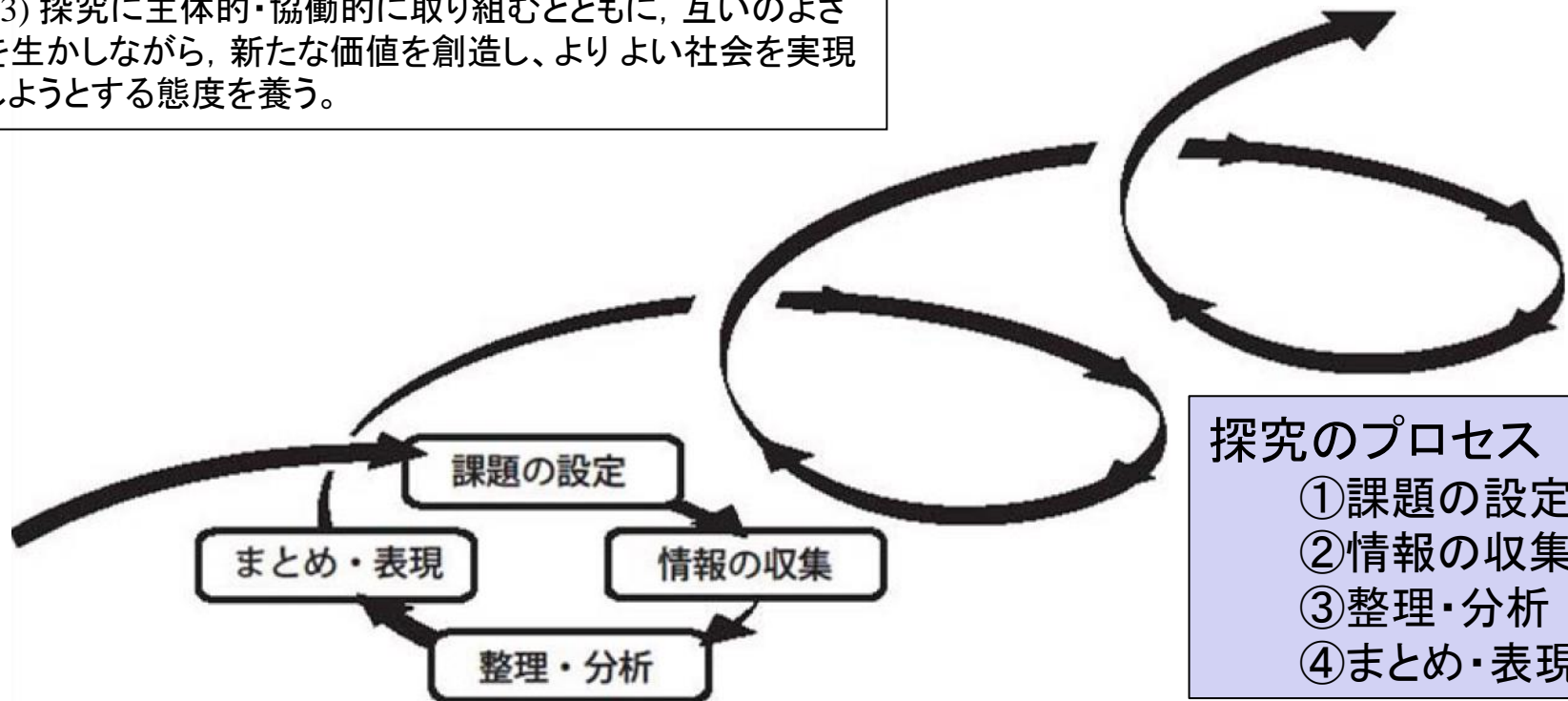
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

■探究を高度化する

- ・目的と方法の整合性
- ・使用し活用する効果性
- ・焦点化される鋭角性
- ・視点を広げる広角性

■探究を自律的にする

- ・自分にとって関わりが深い課題〔課題〕
- ・プロセスを見通し、自分での解決〔運用〕
- ・知見を生活や行為に結び付けて考える〔参画〕



探究のプロセス

- ①課題の設定
- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現

「深い学び」を実現するカリキュラムのデザイン

カリキュラム・マネジメントの充実

■カリキュラム・マネジメントの三つ側面

- ①各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと
- ②教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ③教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること

カリキュラム・マネジメントの充実

■カリキュラムのデザイン

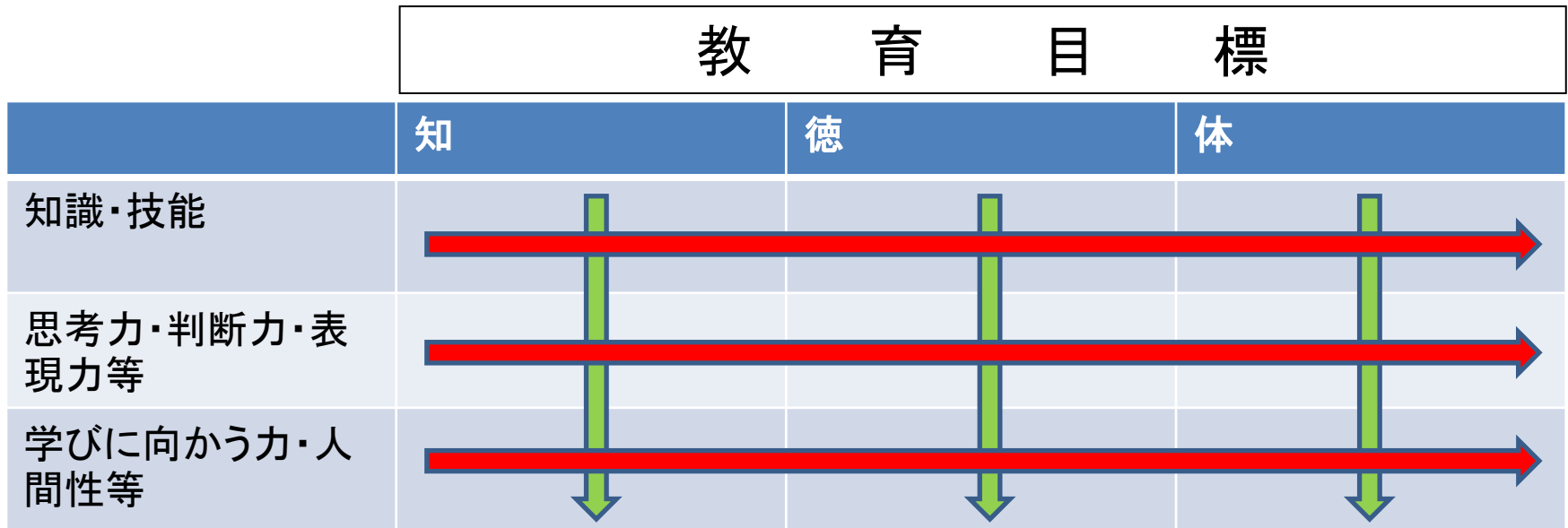
- ①教育活動全体の関係をグランド・デザインとして描く
- ②学年の学習活動を俯瞰して単元配列表を描く
- ③一連の学習活動のまとまりとしての単元を描く

①グランドデザインを描く

総則 第2款 教育課程の編成

1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第5章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図るものとする



「育成を目指す子供の姿」を具体的に描く (資質・能力の三つの柱)

カリキュラム(グランドデザイン)

①グランドデザインを描く

総則 第2款 教育課程の編成

1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第5章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図るものとする

短期目標としての
「育成を目指す子供の姿」を
具体的に描く

①三つの柱、それぞれを一文で表すタイプ(三文)

②三つの柱、それぞれ

③三つの柱、全てを含

総合的な学習(探究)の時間



カリキュラム(グランドデザイン): **関係・俯瞰**

単元配列表

国語									
算数									
社会									
理科									
総合的な学習の時間									
特別活動									
道徳									
音楽									
図工									
体育									

イ:教科等間の活用・発揮(横断関係)

ウ:学年間の活用・発揮(上下関係)

ア:単元間の活用・発揮(前後関係)

教科・領域/月 4月 5月

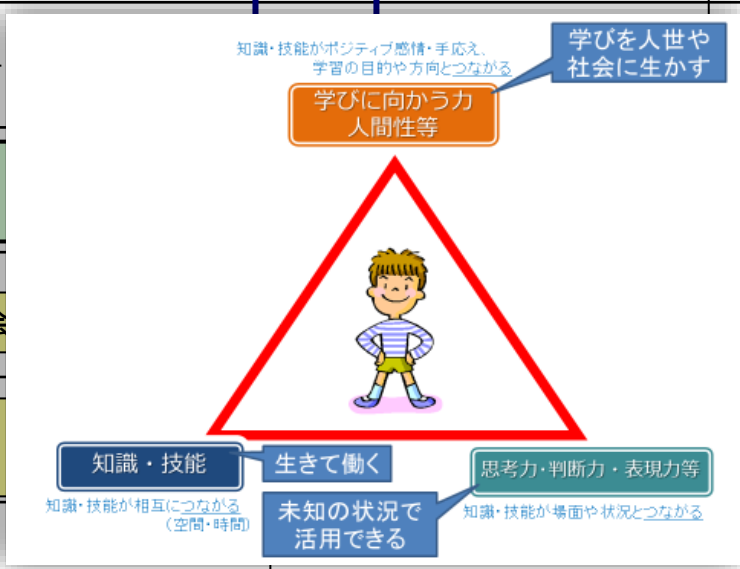
3月

単元配列表

イ:教科等間の活用・発揮(横断関係)

順序・関連

国語	伝えたいこととはつ	
算数		
社会	暮らしとごみの始末	暮らしと水
理科	春の生き物を調べよう	夏の生き物を調べよう
総合的な学習の時間	私たちの水、地球の水	キッズISO 1400に取り組もう
特別活動	クリーンデー (環境・地域参加)	クリーンデー (環境・地域参加) 国際理解集会
道徳	公園をきれいに	カンボジアから来た留学生 ガイジンと呼ばないで
音楽	郷土の音楽	
図工		みんなのギャラリー (自国文化理解) 外国の友だちの教室から (異文化理解)
体育		育ちゆく体とわたし



教科・領域/月 4月 5月

3月

単元配列表

国語									
算数									
社会									
理科									
総合的な学習の時間									
特別活動									
道徳									
音楽									
図工									
体育									

何をつなぐか？

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

どのようにつなぐか？

→ ← (⇔)

シンプル！

単元配列表

フォーカス1
 「育成を目指す子供の姿」をベースにして配列する
 ■重点(①短期目標の資質・能力 or ②中心となる教科等)
 ■精選(①強い関係に限定 or ②弱い関係は削除)

国語				
総合的な学習の時間				
特別活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>国語① 社会①</p> <p>総合的な学習の時間</p> <p>国語② 算数①</p> </div>			
道徳				
音楽				
図工				
体育				

思考スキル

A小学校:「育成を目指す子供の姿」(短期目標)

①知識・技能・・・

②思考力・判断力・表現力等・・・比較、分類、関連付け、多面・多角など
して論理的に考えることができるようにする。

③学びに向かう力・人間性等・・・

学習指導要領

→「考えるための技法」(思考スキル)

思考スキル(考えるための技法)

○順序付ける

- ・複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。

○比較する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

○分類する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。

○関連付ける

- ・複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
- ・ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

思考スキル(考えるための技法)

○多面的に見る・多角的に見る

・対象のもつ複数の性質に着目したり, 対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

○理由付ける(原因や根拠を見付ける)

・対象の理由や原因, 根拠を見付けたり予想したりする。

○見通す(結果を予想する)

・見通しを立てる。物事の結果を予想する。

○具体化する(個別化する, 分解する)

・対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり, 対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。

思考スキル(考えるための技法)

○抽象化する(一般化する, 統合する)

・対象に関する上位概念や法則を挙げたり, 複数の対象を一つにまとめたりする。

○構造化する

・考えを構造的(網構造・層構造など)に整理する。

学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 第5章

単元配列表

フォーカス2
 「育成を目指す子供の姿」をベースにして配列する
 ■重点(①短期目標の資質・能力 or ②中心となる教科等)
 ■精選(①強い関係に限定 or ②弱い関係は削除)

国語				
総合的な学習の時間				
特別活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">国語①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">社会①</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">総合的な学習の時間</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">国語②</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">算数①</div> </div> </div>			
道徳				
音楽				
図工				
体育				

教育の内容を組織的に配列する際の考え方

(各教科等から総合的な学習の時間の場合の可能性)

各教科等

総合

知識及び技能

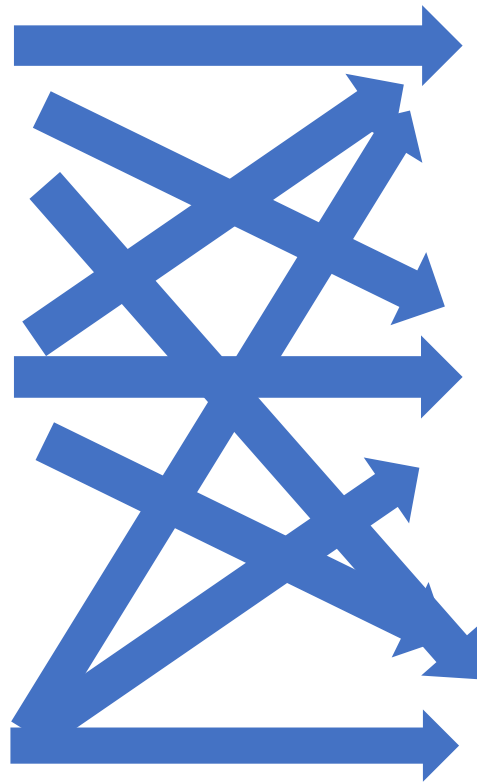
知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等

思考力、判断力、
表現力等

学びに向かう力、
人間性等

学びに向かう力、
人間性等



教育の内容を組織的に配列する際の考え方

(各教科等から総合的な学習の時間の場合の可能性)

各教科等

総合

知識及び技能



知識及び技能

思考力、判断力、
表現力等



思考力、判断力、
表現力等

教育の内容を組織的に配列する際の考え方

(各教科等から総合的な学習の時間の場合の可能性)

各教科等

総合

知識及び技能



知識及び技能

宣言的知識がさらにネットワーク化され一層概念化したり、手続き的知識がさらにパターン化され一層構造化したりして強化されていく。

思考力、判断力、
表現力等

思考力、判断力、
表現力等

教育の内容を組織的に配列する際の考え方

(各教科等から総合的な学習の時間の場合の可能性)

各教科等

総合

知識及び技能

知識及び技能

各教科等で育成された思考力・判断力・表現力が総合で活用・発揮され、さらに異なる場面や状況と結び付き、一層未知の状況でも活用・発揮できるような構造として強化されていく。

思考力、判断力、
表現力等



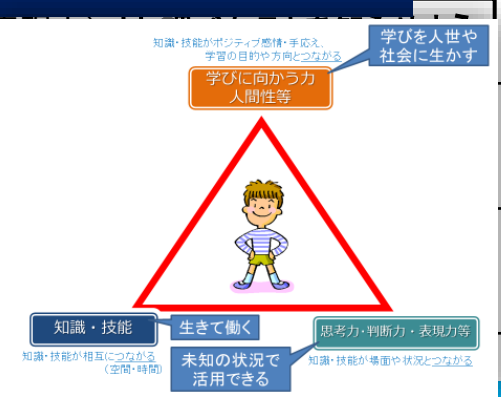
思考力、判断力、
表現力等

注意！短期目標の資質・能力

国語	伝えたいことをはつきりさせて書く		アップとルースで伝えよう	
算数				
社会	暮らしとごみの始末	私たちの暮らしと水		
理科	春の生き物を調べよう	夏の生き物を	秋の生き物を	
総合的な学習の時間	私たちの水、地球の水	キッズISO 1400に取り組みよう	世界遺産から、東雪トレジャー	
特別活動	クリーン（環境・地域参加）	（環境・地域参加）	国際理解大会	
道徳	公園をきれいに	カンボジアから来た留学生	ガイジンと呼ばないで	子
音楽	郷土の音楽			
図工	みんなのギャラリー（自国文化理解）		外国の友だちの教室から（異文化理解）	
体育	育ちゆく体とわたし			

「育成を目指す子供の姿」

汎用的能力（○○力、○○力）



- ・論理的思考力
- ・プレゼンテーション力
- ・社会参画力
- ・意思決定力

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

- ・論理的思考力
- ・プレゼンテーション力
- ・社会参画力
- ・意思決定力

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

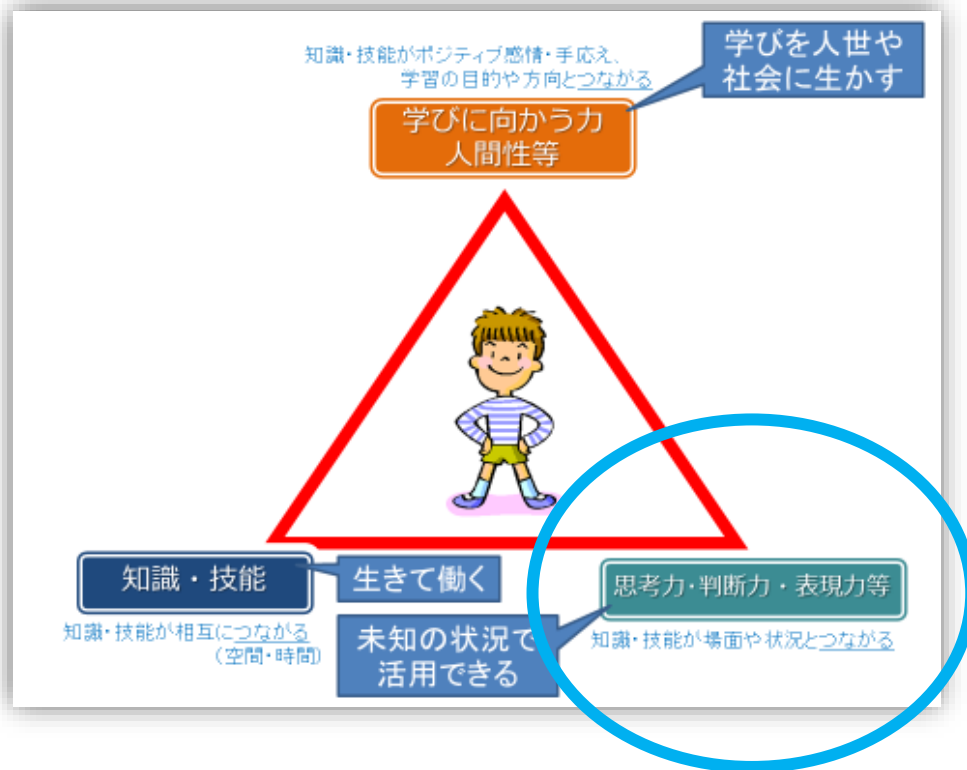
理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

論理的思考力



- ・知識、技能
- ・思考力、判断力、表現力等
- ・学びに向かう力、人間性等



総則 第2款 教育課程の編成

2 教科横断的視点に立った資質・能力の育成

各学校においては、児童の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

- ・社会参画力
- ・意思決定力

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

- ・論理的思考力
- ・プレゼンテーション力
- ・社会参画力
- ・意思決定力

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

- ・論理的思考力
- ・プレゼンテーション力

思考力・判断力・表現力等

ESD (国立教育政策研究所)

“持続可能な社会づくりに向けて課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う”として

- 「批判的に思考し、判断する力」
- 「未来像を予測して計画を立てる力」
- 「多面的、総合的に考える力」
- 「コミュニケーションを行う力」
- 「他者と協力する態度」
- 「つながりを尊重する態度」
- 「責任を重んじる態度」

価値観
(概念形成)

- 多様性
- 相互性
- 有限性
- 公平性
- 連携性
- 責任制

ESD (国立教育政策研究所)

“持続可能な社会づくりに向けて課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力・態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う”として

- 「批判的に思考し、判断する力」
- 「未来像を予測して計画を立てる力」
- 「多面的、総合的に考える力」
- 「コミュニケーションを行う力」
- 「他者と協力する態度」
- 「つながりを尊重する態度」
- 「責任を重んじる態度」

育成を目指す資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界
よりよい人生を

- 「他者と協力する態度」
- 「つながりを尊重する態度」
- 「責任を重んじる態度」

多様性
相互性
有限性
公平性
連携性
責任性

知識・技能

考える力

- 「批判的に思考し、判断する力」
- 「未来像を予測して計画を立てる力」
- 「多面的、総合的に考える力」
- 「コミュニケーションを行う力」

思考力・判断力・表現力等

ポストコロナ社会に期待される人材

実社会の課題を、
知識・技能を活用・発揮しながら、
異なる多様な他者と協働して解決に向かう人材

「探究する学び」

STEAM SDGS 地域活性化

「未来社会を創造する主体としての自覚」

本質的な「キャリア教育」につながる